令和５年第２回定例会諸報告

令和５年６月１３日

第２回定例会開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

例年より早い梅雨入りとなり、豪雨や台風などの自然災害に注意が必要となる季節となりました。令和５年度も、２か月が経過したところでありますが、「活気にあふれ、町民の皆さまが安心して暮らせる住みよいまちづくり」を進めるため邁進してまいります。

議員各位におかれましても、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

それでは、３月の所信表明で申し上げました各種の施策や、その他の事業について、現状及び進捗状況をご報告させていただきます。

１）子育て支援

４月から、幼稚園の完全２年保育を無事スタートすることができました。今後も引き続き、よりよい保育環境・幼児教育の充実に向け現場職員と努力してまいります。

学校施設につきましては、防衛施設周辺整備事業補助金を活用し、講堂の換気及び空調設備の更新を計画しており、令和５年度は北島中学校講堂の工事を行うため、現在、入札の準備を進めております。今後、小学校講堂についても年次的に整備してまいります。

令和５年１月から開始いたしました出産・子育て応援給付金事業の伴走型相談支援の充実を図るため、妊娠届出時・赤ちゃん訪問時の面談に加え、妊娠８

か月頃のアンケートを開始いたしました。

このアンケートは、妊娠８か月頃の妊婦さんにご回答いただくことで、出産や育児等について心配なことがある方に、必要なサポートを一緒に考え、利用できるサービスや情報をご案内させていただくためのものであります。

妊娠期から出産・子育て期まで切れ目なく相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図ってまいります。

町立保育所では、菜園活動や給食委員会等で、子どもが心身ともに豊かに育つよう取り組んでおります。食物アレルギーへの対応は、今後も十分留意してまいります。

保育施設の維持管理といたしまして、総合遊具の点検において劣化が激しいとの指摘があった滑り台部分の取り換えなどを予定しております。今後も子どもが安全に生活できるよう整えてまいります。

給食センターでは、子どもたちの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため、地産地消の推進に努めながら、引き続き、栄養教諭や管理栄養士が中核となり、学校での給食指導や、学校・家庭・地域と連携しながらの保護者・児童生徒を対象とした食育の推進を図ってまいります。

また、調理等業務委託を開始してから１年を経過しましたが、業務の効率化に務めながら、これまで以上に衛生管理を徹底し、感染症等にも細心の注意を心がけ、安全・安心でバランスのとれた栄養豊富なおいしい学校給食の提供に努めてまいります。

２）高齢者・障がい者支援

在宅の障がい者、障がい児、ひとり親家庭世帯などの方を対象とした福祉手

当について、令和５年度は４６８世帯、合計５０１万円を支給いたしました。

高齢者支援につきましては、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、また、コロナ禍で閉じこもりがちであった方などが積極的に地域の通いの場などに参加し、地域との繋がりを持つことができるよう、訪問活動等を通じて周知案内に努めております。

各介護予防教室におきましては、できるだけ意欲的に参加していただけるよう、体力測定の内容の充実化を図るとともに保健指導を実施するなど、関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

３）安心・安全なまちづくり

新型コロナウイルス感染症は、去る５月８日より新型インフルエンザ感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の位置付けが５類感染症に変更されたことにより、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針は廃止されました。

同日より庁舎内のパーティションを取り外し、マスク着用、手洗い等の手指衛生や基本的感染対策は継続しながら、段階的に以前の状態へ移行しております。

昨年度まで防災に関する各種行事等を中止しておりましたが、令和５年度は防災訓練や研修などを再開してまいります。また語り部の派遣も内諾を得ており、中学生を対象とした講演の準備を進めております。

新型コロナワクチン接種につきましては、新たな感染拡大も懸念されるなか、６５歳以上の高齢者、５歳から６４歳で基礎疾患をお持ちの方、医療従事者等を対象に実施しております。今後９月を目途に５歳以上全ての方を対象にした

「令和５年秋開始接種」が始まる予定であり、円滑なワクチン接種の実施に向け準備を進めているところであります。

４）地域の活性化

本年のチューリップ公園は温暖化の影響もあり、例年より早く３月２８日（火）から開園し、４月１７日（月）で閉園となりました。今年もマスク着用やソーシャルディスタンスを心がけるよう案内し、多くの来場者に楽しんでいただけました。

ゼロカーボンシティ宣言に基づき昨年度から実施している「電気自動車等普及促進事業補助金」、「太陽光発電システム等普及促進事業補助金」、「省エネ住宅普及促進事業補助金」につきましては、４月から受付を開始し多くの問い合わせをいただいております。低炭素社会の実現を目指し、住民の方々に広く利用していただけるよう普及等に努めてまいります。

本町の新たな魅力の掘り起こしのため、総務省の「地域活性化起業人制度」を活用し、９月末までの任期で合同会社ＤMM.com の社員 水上真由子（みずかみまゆこ）氏 を登用し、町のブランディング戦略の企画立案などに取り組んでおります。

図書館・創世ホールでは、４月２２日から５月３１日まで、こども読書週間の行事として図書の展示、スタンプラリー、おはなし会を開催し、子どもたちの読書推進を図ってまいりました。

５月８日からは、図書館カウンター飛沫防止パネルの撤去、３階ホールの座席数の制限を解消し、通常の運用となっております。

今後も、幅広い年齢層の読書推進とホールの活用に努めてまいります。

５）社会基盤整備

内水氾濫対策の一環として、北島排水機場において現在より効率の良い機器が設置可能となるよう、高圧受電盤設備設置の工事発注を行いました。また、令和７年度の雨水浸水想定区域の指定に向けた予備検討業務の発注準備を進めております。

上水道事業につきましては、鳴門市送水管布設に伴う町道６０５９号線配水管布設替工事及び大規模災害時においても安定して水道水を供給できるよう指定避難所、防災拠点となっている北島北小学校、YGKドーム、板野東部消防署へ向けた管路の耐震化を図るため、町道５０５１号線配水管布設替工事を発注いたしました。また、浄水場施設整備では配水ポンプ分解整備、委託業務では県道松茂吉野線外配水管布設替工事設計業務、有収率向上への取り組みとしまして例年実施しております給・配水管漏水調査業務を発注しております。

鳴門市との共同浄水場整備事業におきましては、浄水処理棟、管理棟などの各施設の基礎工事を終え、今年度より本格的に施設の建設に着手するとともに本町に向けた河川横断送水管の推進工事にも順次取り掛かる予定であります。今後も鳴門市と連携し、令和８年度の供用開始に向けて、事業を着実に進めてまいります。

公共下水道事業は、令和４年度より繰越した３路線の工事につきましては、現在、早期完成に向けて進めております。

また、５月に第７処理分区の管渠詳細設計及び地質調査業務を発注し、住民説明会を開催すべく準備を進めております。

令和５年度の管渠築造工事は、現在発注準備を進めており、面的整備の拡充と接続率向上に努めてまいります。

６）その他

本町のマイナンバーカードの交付状況は、令和４年度中に５，２３５枚のマイナンバーカードが発行されており、累計で１７，０８３枚となり、令和４年度末の普及率は７２．９％となっております。これは、徳島県の平均６６．３％を上回り、６月１日現在で７８．３％と増加しているところです。

また、国のマイナンバーカードのマイナポイント事業第２弾に合わせ、９月末まで庁舎１階ロビーにてマイナポイント申請サポート事業を実施しておりますので、マイナポイント受取対象者の方にご利用いただきたいと思っております。

ＤＸ推進事業の一環として、クラウド型電子契約サービスを導入し、本年８月より本格運用できるよう準備を進めております。これにより、契約事務の効率化を図るとともに、事業者の皆さまの利便性向上につながることを期待しております。

今後も引き続き住民福祉の向上を目指して、各事業を進めてまいりますので議員各位をはじめ、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ報告といたします。